

## 鹿児島市水道局建設工事最低制限価格制度実施要領（平成20年3月31日制定）

### （趣旨）

第1条 この要領は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10第2項（第167条の13を準用する場合を含む。）及び鹿児島市水道局契約規程（平成20年水道局規程第7号）により準用する鹿児島市契約規則（昭和60年6月17日規則第25号。以下「規則」という。）第13条の規定により、建設工事請負契約に係る競争入札について、契約内容に適合した履行の確保をするため特に必要があると認めるときは、あらかじめ最低制限価格を設けて、予定価格の制限の範囲内で最低の価格（以下「最低価格」という。）をもって申込みをした者（以下「最低価格入札者」という。）を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって申込みをした者のうち最低の価格をもって申込みをした者を落札者とする入札方法（以下「最低制限価格制度」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

### （最低制限価格制度の対象工事）

第2条 管理者は、建設工事請負契約に係る競争入札を行う場合において、予定価格23億円未満の工事について最低制限価格制度の対象とすることができるものとする。

### （最低制限価格の設定）

第3条 最低制限価格制度を行う場合の基準となる価格（以下「最低制限価格」という。）は、当該競争入札に係る予定価格の算出の基礎となった直接工事費相当額に10分の9.5を乗じて得た額、共通仮設費相当額に10分の9を乗じて得た額の額、現場管理費相当額に10分の8を乗じて得た額及び一般管理費相当額10分の3を乗じて得た額の合計額を工事価格で除して得た割合に、予定価格を乗じて得た額とする。ただし、その割合が10分の9を超える場合には予定価格に10分の9を乗じて得た額とし、その割合が10分の8に満たない場合には予定価格に10分の8を乗じて得た額とする。

2 前項の規定にかかわらず、管理者が特に認める場合は、10分の8から10分の9の範囲内で定めた割合に、予定価格を乗じて得た額を最低制限価格とすることができる。

3 最低制限価格については、予定価格調書の予定価格が記載された欄の下に、「最低制限価格 〆〇〇」と記載し、さらに、当該最低制限価格に105分の100を乗じて得た金額を「（最低制限価格の105分の100 〆〇〇）」と記載しておくものとする。

### （入札参加者への周知徹底）

第4条 最低制限価格を設けた競争入札の入札参加者に対して、一般競争入札にあつては公告に、指名競争入札にあつては指名通知書に記載するとともに、入札執行時においても説明するなど、周知徹底を図るものとする。

### （入札執行）

第5条 入札執行者は、入札の結果、最低価格が最低制限価格以上の場合には最低価格入札者

を落札者とし、最低価格が最低制限価格未満の場合には、入札者に対して「失格」を宣言し、予定価格の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって申込みをした者のうち最低の価格をもって申込みをした者を落札者とし、入札を終了するものとする。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は管理者が別に定めるものとする。

付 則

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

付 則 (平成21年8月28日一部改正)

(施行期日)

1 この要領は、平成21年9月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要領による改正後の鹿児島市水道局建設工事最低制限価格制度実施要領の規定は、この要領の施行の日以後に指名通知又は公告を行う競争入札について適用し、同日前に指名通知又は公告を行った競争入札については、なお従前の例による。

付 則 (平成22年3月29日一部改正)

(施行期日)

1 この要領は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要領による改正後の鹿児島市水道局建設工事低入札価格調査制度実施要領及び鹿児島市水道局建設工事最低制限価格制度実施要領の規定は、この要領の施行の日以後に指名通知又は公告を行う競争入札について適用し、同日前に指名通知又は公告を行った競争入札については、なお従前の例による。